

第 8 2 0 回

定例教育委員会会議録

日 時 平成 2 8 年 8 月 2 9 日（月） 1 5 : 0 0 ～

場 所 市民学習センター 2 0 2 号室

益田市教育委員会

第 8 2 0 回 教育委員会定例会

招集年月日 平成 2 8 年 8 月 2 9 日（月） 1 5 時 0 0 分～

招 集 場 所 市民学習センター 2 0 2 号室

議 事 日 程

第 1 会議録の承認について

第 2 教育長報告について

第 3 議題

議第 1 4 号 益田市指定文化財小川家木地屋文書の寄託について

報第 2 5 号 平成 2 8 年度（平成 2 7 年度事業分）益田市教育委員会点
検・評価について

報第 2 6 号 平成 2 8 年度全国学力・学習状況調査結果について【非公開】

第 4 その他

- ・社会教育課が関わるイベントについて
- ・献立について
- ・寄附・寄贈について
- ・その他

出席者

教育委員会

教 育 長	村 川	修
教 育 委 員	永 田	秋
教 育 委 員	水 上	枝
教 育 委 員	渡 辺	隆
教 育 委 員	中 野	純

事務局職員

教 育 部 長	川 原 敏 之
教 育 総 務 課 長	島 田 博
学 校 教 育 課 長	澤 江 幸 実
学 校 教 育 課 参 事	城 市 博 明
社 会 教 育 課 長	大 畑 伸 幸
社 会 教 育 課 長 補 佐	伊 藤 功 二
人 権 ・ 同 和 教 育 推 進 室 長	田 中 智
文 化 財 課 長	木 原 光
歴 史 文 化 研 究 セ ン タ ー 主 任 主 事	中 司 健 一
美 都 分 室 長	吉 野 聡 子
教 育 総 務 課 長 補 佐	山 本 勝 利
教 育 総 務 課 主 事	岩 本 純 平

村川教育長 それでは第 8 2 0 回定例教育委員会を開催したいと思います。

（会議録の承認）

村川教育長 会議録の承認をいただきましたので、続いて教育長報告に入りたいと思います。

（教育長報告）

村川教育長 《P 2 ～ 3 教育長報告で説明》

これについて何かご質問等ありますでしょうか。

渡辺委員 糸操り東京公演は日本青年館が主催されるんですか。

大畑課長 日本青年館が主催です。

渡辺委員 日本青年館に 2、3 回行ったことがあるんですが、こうした文化関係まで手を広げておられるというのは私も知りませんでした。

大畑課長 青年団の活動支援と併せてこういう文化的なことについても長年やってきておられるそうで、文化庁とも一緒になってやっておられるそうです。リハーサルからちゃんと衣装を着てするようという指示が出ているくらい力を入れておられますので、非常に良い機会だと思っています。

渡辺委員 それから道川小学校が銀賞になりましたが、道川から東京に行くのに親子の旅費を全額負担してもらったということで、とてもうれしいことだと思いました。来春統合するのに良い思い出ができたんじゃないかなと思います。太鼓も随分歴史がありますし、今福さんが一生懸命に教えた成果だと思います。益田でもいろいろな学校に呼んで指導していただいていると思いますが、ああいう人がもっとほしいですね。子供たちがあれだけ長い時間集中してするというのは、普通のことではなかなかできませんから、子供たちもそれに耐えて一生懸命やったというのは本当にすごいと思います。

村川教育長 校長先生の話の中で、引っ込み思案だった子がこの大会を機にいろんな表現ができるようになったというお話がありました。

渡辺委員 大人になる中での一過的なものではあるかもしれませんが、すごく効果的なものであると思います。

村川教育長 ほかにご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

教育委員 ＝全員了承＝

（議題）

村川教育長 それでは議題に入りたいと思います。まずは議第 1 4 号の益田市指定文化財小川家木地屋文書の寄託について説明をお願いいたします。

木原課長 益田市の指定文化財になっております小川家木地屋文書につきまして、

所有者の方から高齢を理由に教育委員会のほうへ寄託をしたい、預けたいという意向が示されました。これに対して文化財等の寄贈及び寄託取扱要綱に基づいて寄託を受け入れるという手続を進めてまいりたいと考えております。本日はこの文書の現物を準備しておりますので、歴史文化研究センターの中司主任主事のほうから説明をさせていただきたいと思っております。

《中司主任主事による史料の説明》

村川教育長 これについて何かご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。それではこの寄託について承認いただける方は挙手をお願いいたします。

教育委員 =全員承認=

村川教育長 続きまして、報第25号の平成28年度（平成27年度事業分）益田市教育委員会点検・評価について説明をお願いいたします。

島田課長 教育委員会の点検・評価についてですが、最終的に外部評価委員会から評価をいただきまして、報告書としてまとまりましたので報告いたします。今回お配りしたものは今までのものとは若干変更しておりまして、前のほうにそれぞれの教育大綱の重点項目を評価する上での細かい事業がありましたが、それを資料として後ろに付けたほうが良いという意見がありましたので、教育委員会の活動状況と併せて後ろに資料編としてまとめております。

それから中野委員さんからも意見としていただきましたが、視察など現場を見ていただいて評価していただくということですが、今回時間がないということもありますし、3人の外部評価委員さん、広島経済大学の志々田まなみ先生、豊川地区つろうて子育て推進協議会の出雲佳代子委員長、元教職でいらっしゃいました石川文雄さん、それぞれの方が益田市教育行政に携わっておられた方ですので、今回は特に視察はなしということで、意見交換をする中で評価をしていただきました。

それからどうしても評価のための評価といいますか、これを踏まえて次にどうつなげていくかが弱いということで、今後評価指標なども見直す必要があるという指摘を受けております。来年度も引き続きこの3人の方が委員ですので、来年度に向けての動きを今から始めてくださいという指摘を受けています。その点について、今後意見交換をしながら、場合によっては視察をして現場を見ていただく機会を作りたいと思っております。

それからP4に教育大綱の4つの重点項目のところに構成する事業を載せておりまして、当初「学力向上を支えるための施策の推進」の中に「学び舍ますだ」を入れていたんですが、評価作業を進める中で、効果としては家庭学習の支援というところが強くありまして、「教育と子育て

て支援の一体化」の中に移動させています。そういう項目の見直しをしたものが若干ありますが、21事業については変更はありません。

それからP11以降に外部評価委員さんからの意見として、お一人ずつ原文をそのまま載せております。昨年度までは5人の外部評価委員さんの意見を委員会の意見として一つにまとめておりましたけども、それをしてしまうと、真逆の意見があった場合にその意見が薄れてしまうということがありましたので、そのまま原文を載せるということにしております。

それからP16に総括ということで載せておりますが、事務局としての自己評価を更に4つの重点項目を総括してどう考えるかということ載せておりましたけれども、3人の委員さんからそれぞれ課題としてご指摘があったことも踏まえてここに最終的な総括としてこの中に位置づけました。4つの項目はそれぞれ教育大綱初年度の年でしたので、目標設定であるとか新たな方向性に向けての計画づくりというものが多くありました。キャリア教育や企業家教育による人材の育成のところでは、試行的に行ったというもので、対象となった児童生徒が少ないという状況がありました。それはあくまでも試行的に実施した1年目というところで、次につなげていくというのが大きな課題として出ておりますので、今後そこに向けて努力していくというところで今後の方向性を示しております。

それからP17以降はそれぞれの事業シートとなっておりますが、一つ一つのシートだとどうしてもこちらに目が行って、今までの一つ一つの事業の評価と変わりがないものになるのではないかという指摘がありまして、重点項目の評価ということで進めていくのであれば、それをどういう目標で重点項目を進めていくのか、そういう指標づくりを今後したほうがいいということでご指摘を受けております。その指摘を踏まえて来年度の評価事務をどう変えていくかということは今協議中です。またそれについて原案が出来ましたら改めてお示しさせていただこうと思っております。

村川教育長
水上委員

これについて何かご質問等ありますでしょうか。

学び舎ますだがこちらに変わったということなんですが、確かにどうしても学力という面が出てきやすいですが、中に家庭学習に関する説明があったので、そういう観点からこちらに分類されるのも納得しました。

委員さんの意見は原文のまま載せるという前提で提出いただいたんですか。

島田課長
水上委員
渡辺委員

はい。

書き方が三者三様だったので、少し気になりました。

学力向上についてですが、昔は家に帰って勉強するということもでき

ませんでしたので、授業中に集中して、特に算数や数学はその場できちんと理解しておかないと、後から勉強するということにはならなかった
ので、そのくらい集中してしないといけないと思って勉強していました。
最近では子供たちがきちんと授業時間内に100%理解を示すほど集中して
授業を受けるような姿勢は見られるんですか。

城市参事
渡辺委員

基本的に見られます。

それなら良かったです。昔は分からないところがあったら友達や先生
に聞いてでも、なんとかその時間内にやってしまわないとどうにもなら
ないという状態でしたので。

城市参事

この後の報告にもあるんですが、「分からないところはどうしますか」
という質問で、「友達や先生に聞く」と答えた割合は、実は全国よりも
高いです。

島田課長

今後についてですが、まず庁内の政策調整会議で報告をします。それ
から9月議会の総務文教常任委員会で報告しまして、最終日の全員協議
会で全議員さんへの報告ということになります。その後市民の方に公表
いたします。

村川教育長
教育委員

ほかにご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。
＝全員了承＝

村川教育長

続きまして、報第26号の平成28年度全国学力・学習状況調査結果
についてですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第
7項の規定に基づき、非公開としたいと思いますよろしいでしょうか。

教育委員

＝全員了承＝

村川教育長

それでは報第26号については非公開といたします。

(その他)

村川教育長

それではその他に入りたいと思います。何か報告事項がありましたら
お願いいたします。

大畑課長

エンジョイ・スポーツますだということで、いろんなスポーツやレク
リエーションに関係する団体がスポーツ体験教室などいろんなことを開
催して、スポーツの底辺を拡大していこうという取組です。昨年度も行
いまして、今年度も実行委員会を3回開いたところです。来年度に向け
て更に多くのスポーツを交えながら底辺の拡大をしていきたいと思っ
ています。

伊藤補佐

続いて歴食サミットについてですが、第2回歴食JAPANサミット
in 益田というものが開かれます。昨年第1回目は山口で開催されまし
て、今回は益田で、来年2月26日に開催の予定となっております。歴
食というのはあまりなじみがないものであると思いますが、歴史的な価

値のある食を意味する新しい分野でありまして、文献や遺跡を読みほどこいて再現した食など歴史的なストーリーを有したお菓子や料理を全国へ多岐にわたり展開するというものです。このサミットは、大きく歴市と歴座というもので構成されております。歴市は「全国の歴食を食べつくす」、歴座は「歴食と歴史を語りつくす」ということです。資料には歴市の出展予定団体として17団体とありますが、これから協賛も増えていくだろうと考えております。

それから歴食サミットに関連して、これは社会教育課が主体となったイベントですが、「歴食パティシエは君だ！コンテスト」ということで、益田市の歴史をイメージしたスイーツのイラストを募集して、12月にプレゼンをして、その優秀作品の中からお菓子業者が作りたいというものを原案者とお菓子業者がマッチングして、このサミット終了後も売り出していきたいというものです。

社会教育課の事業の中にも益田歴史フェスティバル関連の事業として、例えば中世の食再現プロジェクトであるとか、おもてなし女子などでも参画しております。こうしたイベントを学校や公民館につなげ、地域と住民が歴史をきっかけにサミット開催後も協働できる体制づくりになればと考えております。

村川教育長
教育委員

これについて何かご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。
＝全員了承＝

村川教育長
島田課長

そのほかにありましたらお願いいたします。

8・9月献立をお配りしております。もう既に2学期の給食は始まっておりますが、2学期も新しいことに挑戦するような献立にしております。テーマとしては「食生活について見つめなおそう」ということにしております。献立が大きく変わったということではないんですが、夏休みで生活のリズムが崩れたこともありますし、加えて2学期は運動会や体育祭など学校が始まって不規則な生活が続きます。そういう中で給食を通して自分自身の体調管理であるとか食を通じた体づくり、そういうものを見つめなおしていただくということでテーマを設定しております。

それからメニューのほうを見ますと、9月8日の「豆腐ハンバーグのゆずソースかけ」、12日の「さけのオニオンソース焼き」、21日の「さんまの塩焼き」、26日の「さばしょうがじょうゆ煮」、27日の「ミニトマト」、29日の「タンドリーチキン」、30日の「カレイの甘酢がけ」、これらが今回初めて出すメニューとなります。今までだったら既に味付けされている冷凍のものを温めるだけだったんですが、一つ一つ手を加えて手作りして挑戦していこうというものになります。特

にミニトマトは初めての生野菜ということになりますが、新しい設備になったということで出せるものになります。

それから9月7日、14日、28日、それぞれ水曜日になりますが、黒丸を付けております。それぞれ「かきたま汁」「バンサンスー」「さけ入りそばろ井の具」ですが、これはそれぞれ卵が入る献立になります。2学期からアレルギー対応食ということで、卵の除去食の提供を開始しまして、卵を使う献立は水曜日に限定して、除去食が間違っ手渡らないということがないように意識する日ということで水曜日を位置づけております。今回初めて始まるということで、裏面にアレルギーに関する記事載せております。実際に除去食を始められる子供さんは8人いらっしゃいます。それぞれ学校と連携しまして、どのようにその子供さんに渡すのかということをして1学期中にシミュレーションをしまして、間違いがないようにということで確認し合っています。

それから右下の所に給食メニュー紹介ということで載せておりますが、給食が変わったことで給食の話題が家庭で多く出るようでした、どのように作るのかということでレシピの問合せが多く入るようになりました。ここには今までも載せておりましたが、今後はホームページにも同じものを載せるようにして、少しでも多くの目に触れる機会を設けております。また、市内の大型スーパーからもこの献立を頂けないかという問合せがありましたので、お配りして、掲示もしていただいております。

村川教育長

今年からの取組で、2学期からということで準備をしておりましてけれども、こういう形でアレルギーへの対策を進めているということです。これについて何かご質問等ありますでしょうか。

渡辺委員
島田課長

児童生徒のアレルギー調査は入学の時にされるんですか。

今回アレルギーに対応するというので、昨年度から申請をいただいております。医師の診断があって、家でも除去食などの対応をしておられる方ということで、医師とも相談しながら、本当に対応食にすべきかどうかという検討をして、最終的にこの8人の方に提供するというので決定しております。一応申請いただいた8人の方全員に提供ということにはなっているんですが、どうしても卵だけの除去食ということで、卵だけでなくほかのアレルギーもあるという方もおられまして、その日だけの対応ということになってもあまり手間が変わらないので希望しませんという方もいらっしゃいました。今後卵のみの除去食ではアレルギー対応とは言い切れませんので、ここで経験を深める中で、代替食に変えとかそういう多くの方に給食を楽しんでいただけるようなものに変えていく必要があると考えております。

永田委員

私は38年間教職にいたんですが、1回だけアレルギー反応を起こして、本当に呼吸困難になって日赤に入院した子供に出会ったことがあります。

ます。それはイカとかエビのようなものが原因だったんですけど、給食を一緒に食べて、食べたときはどうもなかったんですけど、その後に運動をしてしまって、そうすると昼過ぎに大変なことになって、救急車にすぐ来てもらって、日赤に運ばれたということがありました。そのときまではアレルギーなんかというような感覚でいたんですけど、本当に大変なことになるというのを実感しましたので、本当に意識して対応していただきたいと思います。

中野委員

白米を出しておられると思うんですが、どうも残菜が多いというような話を学校のほうから聞いておりますので、ご飯が残るということを何かしら改善できる方法があればと思います。いろいろと意見交換をすると、夏時期で暑くて給食が十分に食べられないという子供さんがいらっしゃって、そういう季節柄な部分もあるのかなというふうには思うんですが、また様子を見ながら続くようであれば何かまた検討していかないといけないだろうなと思います。例えば他県ではご飯にふりかけをかけるとか、そういう工夫をしておられるところもありますので、白米のおいしさを味わってほしいというような思いもあるのでそうしているという回答も頂いたんですが、また様子を見ながら検討していただけたらと思います。

島田課長

残菜の重量を量ってはいるんですが、本当は食品ごとに量ることを計画していたんですが、まだそこが対応できていないというところがあります。ですが感覚として昨年と比べて大きな変化はないというのが現場の意見です。どちらかと言うと残菜は小規模の学校ほど少なく、大規模になるにつれて1人当たりの量が増えていく傾向にあります。小規模の学校は学校ぐるみで減らそうということで、多く食べたい子に多く渡したりして、学校から出すものがなくなるように工夫されているというのは聞いております。ご飯についても使うお米は今までと同じなんですが、炊き方が変わったということでおいしくなったという評判はあるんですが、気候や気温等で食べにくさがあるのではないかと分析しています。栄養士のほうもよく「三角食べ」ということを言っているんですが、味の濃いものを白米で中和しながら食べるということを身に付けてほしいということで、なかなか混ぜご飯ですとかふりかけのようなものに頼るということにはまだ行きたくないというのが正直なところです。和食中心ということで白米に慣れていただきたいというのが思いとしてあるようです。パンの希望というのも相変わらずあるんですが、特にこの時期はぱさぱさして食べにくいということがあります。ですから9月についても暑い日が続くということで、パンはお出ししないというところ です。

それから前回の定例会で渡辺委員さんからお米について何等米なのか

というご質問がありましたが、一等米ということでした。そろそろ新米が出てくる季節になるんですが、どの時点で新米に変えるのかというのが難しいところなんですが、実際の流通の中では去年のお米がまだ残っているそうです。給食でそれを使ってほしいということをおっしゃったんですが、各家庭が新米になっているのに給食で古いお米を出すのはそぐわないということで、現場としては一般的に切り替わった時期に切り替えたいということで、農協のほうとも今調整をして、少しでも質の高いものに切り替えていこうと思っています。

水上委員 いつもこの献立表の出来がよくできているなと思っていて、先ほどのようにホームページに載せたり、大手スーパーから頂きたいというような話があったりということなんですが、例えば年に1回でも広報に載せるとか、こうして新しく給食調理場が出来たのでこういう新しいメニューが出来るようになったとか、家庭でできるようなメニューを紹介するとか、そういうのがあると一層親しみやすく感じられると思います。恐らく今の子供たちが学校でどんなものを食べているのかというのが特にご高齢の方なんかは分からないと思いますし、1回でもいいので学校給食センター情報のような形で載せてみると、また一段と親しみがわくんじゃないかなと思います。

島田課長 これについては広報担当課と相談をしてみます。

渡辺委員 お米、特にコシヒカリについては、産地にもよるのかもしれませんが、熟成させた古いお米のほうがおいしいという人もおられますので、食べ比べてみたほうが良いかもしれません。

永田委員 前にテレビで、残菜がすごく残って、それは給食だけでなくスーパーでもですけど、とにかく捨てるものがすごく多くて、それを何とかもう一度食べられるようにいろいろと工夫して取り組んでおられたんですが、給食も残さず食べられるように、大きい学校も大変だとは思いますが工夫して、一律に配るのではなくて個人差にあった量を配ったりですとか、そういう配慮を少ししてあげると減ってくるのかなと思います。栄養士さんとしてはカロリーを考えてこれだけは食べないといけないということもあるのかもしれませんが、その辺を少し融通を利かせて各学校の残り物が少なくなるようにしていただけたらと思います。給食がそうだったからということで、大人になってからも食べないものは捨てるというようなことになるとまたそれも困りますので、よろしくお願いします。

中野委員 教育委員の皆さんには先ほどお伝えしたことなんですが、給食の配膳の仕方が変わったということと併せて、学校の配膳台が老朽化したりですとか不足したりしているという話を聞きましたので、8月11日に、購入という形ではなくて、保護者と先生方と子供たちと配膳台の製作をしました。早速今日から活用していただきまして、子供たちに感想を聞

いたんですが、私たちのために作ってくれてうれしいですというような感想を頂きまして、本当に気持ち良く感じたところです。

村川教育長 地域の皆様の支援があったということで、ありがとうございました。ほかにご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

村川教育長 ほかにありましたらお願いいたします。

島田課長 寄附を頂いた一覧表をお配りしております。8月のところで5件ほど寄附を頂きまして、奨学金への寄附が4件と図書への寄附が1件ございました。奨学金に寄附を頂きました徳栄建設様ですが、これ以外にも子育てはっぴータイム事業の絵本に対してもご寄附頂いておりますので、報告させていただきます。

村川教育長 今月はたくさんのご寄附を頂きました。ありがとうございました。これについて何かご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

村川教育長 最後になってしまいましたが、今日から9月議会が始まりまして、山本市長の所信表明が議会の最初のところで、2期目のスタートということで述べられました。内容については今までの計画というものを継続あるいは発展させるというような基本的姿勢でありまして、4つの観点で重点分野について述べられました。我々の関係で言いますと、お配りした資料のP6の所、「人を伸ばし、まちの宝を活かす教育・文化の振興」ということで、「ひとづくり」というテーマの中で今の施策を進めていくということで、教育大綱にもありますように「ひとが育つまち益田」というテーマの中で取り組んでいくということで、確かな学力に裏打ちされた生きる力、あるいは文化芸術の振興というような形で、今回は具体的な内容と言うよりもやや抽象的な表現でうたわれております。また全体を見ていただきたいと思います。これについて何かご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

村川教育長 次回の日程を決めたいと思います。次回は9月26日月曜日の13時から定例教育委員会を開催いたします。それでは以上で定例教育委員会を終了とさせていただきます。ありがとうございました。

終了時間 16時35分